

2015年度 人間科学部人間科学科 教育課程表(2015年度入学者に適用)

	1年次						2年次						
	1セメスター			2セメスター			3セメスター			4セメスター			
	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	
基礎科目	人間科学概論	○2	*1	健康学概論	×2	川上(満)							
	人間形成論	×2	*2	心理学概論	×2	杉山(崇)							
	人間関係論	×2	*3	教育学概論	×2	鈴木(匡)							
	情報処理 I	○2		社会学概論	×2	笠間(千)							
基幹科目	心理発達			ライフデザインの心理学	2	馬場(洋)	心理学基礎実験 (含む心理検査) I	2		心理学基礎実験 (含む心理検査) II	2		
							感覚知覚心理学 I	2		感覚知覚心理学 II	2		
							生涯発達心理学 I	2		生涯発達心理学 II	2		
	スポーツ健康			スポーツ社会学	2	仲澤(眞)	スポーツ実践 I	2		スポーツ実践 II	2		
							人体生理学	2		スポーツ心理学	2		
							栄養管理学	2		公衆衛生学	2		
	人間社会	社会調査論 I	2	志田(哲)	社会調査論 II	2	志田(哲)	現代社会論 I	2		現代社会論 II	2	
							ジェンダー研究	2		現代社会心理学	2		
					フィールドワーク入門 I	1	笠間(千)	国際社会論(アジア)	2		景観地理学	2	
専攻科目	心理発達						環境心理学	2		臨床発達心理学	2		
							児童心理学	2		心理療法 I	2		
							ボランティア学習論	2		健康心理学	2		
	スポーツ健康	スポーツ実技種目(球技①)	2	高田(幸)	スポーツ実技種目(球技①)	2	高田(幸)			救急法	2		
		スポーツ実技種目(球技②)	2	藤城(仁) 宮崎(重)	スポーツ実技種目(球技②)	2	藤城(仁) 宮崎(重)						
							スポーツ実技種目(器械運動)	2		スポーツ実技種目(器械運動)	2		
							スポーツ実技種目(陸上競技)	2		スポーツ実技種目(陸上競技)	2		
							スポーツ実技種目(球技③)	2		スポーツ実技種目(球技③)	2		
							スポーツ実技種目(水泳)	2		スポーツ実技種目(水泳)	2		
							スポーツ実技種目(ダンス)	2		スポーツ実技種目(ダンス)	2		
							スポーツ実技種目(武道)	2		スポーツ実技種目(武道)	2		
							ロールモデル論	2		スポーツ医学	2		
スポーツ哲学	2	山口(順) 大後(栄)			学校保健	2		運動処方論	2				
ライフアカデミックスキル	2	八田・横山			スポーツ産業論	2		野外実習(ウィンター)	2				
人間社会						形質人類学	2		世界地誌	2			
						実践メディア論 I	2		地域社会貢献論	2			
									実践メディア論 II	2			
関連科目	人間科学特別講義	2	松本(安)	ホスピタリティ論	2	休講	プログラミング演習	2		障害者福祉論	2		
							児童福祉論	2		キャリア特別講義	2		
							レジャーと産業	2					
	日本史概論 I	2	坂井(久) 前田(禎)	日本史概論 II	2	坂井(久) 前田(禎)	日本経済史 I	2	神谷(久) 谷沢(弘)	日本経済史 II	2	神谷(久) 谷沢(弘)	
	外国史概論 I	2	中林(広) 山本(信)	外国史概論 II	2	中林(広) 山本(信)	西洋経済史 I	2	佐藤(睦)	日本政治史	2	桶川(俊)	
	人文地理学概論 I	2	新井(智) 小泉(誠)	人文地理学概論 II	2	新井(智) 小泉(誠)	国際法 I	2	川島(聡)	西洋経済史 II	2	佐藤(睦)	
	自然地理学概論 I	2	平井(史)	自然地理学概論 II	2	平井(史)	国際法 II	2	川合(敏)	国際法 II	2	川島(聡)	
	経済地理 I	2	後藤(晃) 三富(正)	経済地理 II	2	後藤(晃) 三富(正)	行政法 I	2	川合(敏) 諸坂(佑)	行政法 II	2	川合(敏) 諸坂(佑)	
	地理学(含地誌)	2	平井(誠)	地理学(含地誌)	2	前川(明)	比較政治学 I	2	小山(吉)	比較政治学 II	2	小山(吉)	
	地誌学概論	2	小泉(誠)	地誌学概論	2	平井(誠)	国際政治学 I	2	佐橋(亮)	国際政治学 II	2	佐橋(亮)	
	憲法概説 I	2	白井(雅)	憲法概説 II	2	白井(雅)	世界経済論 I	2	内藤(徹)	内藤(徹)	2	内藤(徹)	
	民法概説	2	磯本(典)	刑法概説	2	藤田(尚)	政治学入門	2	大川(千)	世界経済論 II	2	鳴瀬(成)	
経済史 I	2	稲庭(暢) 松村(敏) 宝利(心) 伊藤(美) 高山(守)	経済史 II	2	松村(敏) 宝利(心) 伊藤(美) 高山(守)	経済政策	4	酒井(良)	経済政策	4	清水(俊)		
哲学概論 I	2		哲学概論 II	2		財政学 I	2	池上(和) 五嶋(陽)	財政学 II	2	池上(和) 五嶋(陽)		
総合演習						人間科学専門ゼミナール I					○4		

*1:衣笠(竜), 前原(吾), 横倉(節) *2:石井(哲), 志田(哲), 瀬戸(正) *3:杉山(崇), 寺沢(正), 山下(昭)

*4:石井(哲), 大竹(弘), 川上(満), 衣笠(竜), 下田(節), 笹川(俊), 瀬戸(正), 新田(泰), 古屋(喜), 前原(吾), 松本(安), 三星(宗), 宮崎(重), 水野(勝), 横倉(節)

3年次						4年次						卒業 要件 単位数	
5セメスター			6セメスター			7セメスター			8セメスター				
授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者		
												基礎科目	14
												心理発達	22
												スポーツ健康	
												人間社会	
												心理発達	
家族心理学	2		色彩心理学	2								心理発達	30
高齢者障害者福祉心理学	2		被害者心理学	2									
認知神経科学	2												
コミュニティー心理学	2												
組織心理学	2												
精神医学	2												
脳損傷リハビリテーション	2												
教育哲学	2												
心理療法Ⅱ	2												
青年心理学	2												
スポーツ実践Ⅲ	2		スポーツ実践Ⅳ	2							スポーツ健康	16	
トレーニング実技	2		トレーナー実習	2									
スポーツの行政と公共政策	2		コーチング論	2									
保健体育専門教養Ⅰ	2		スポーツと経済	2									
保健体育指導実践Ⅰ	2		保健体育専門教養Ⅱ	2									
			保健体育指導実践Ⅱ	2		コーチング心理学	2						
身体科学実験実習	2		スポーツ文化	2									
睡眠と生体リズム	2		身体運動の計算科学とシミュレーション	2									
機能解剖学実習	2		健康システム管理論	2									
			実践英語	2									
異文化社会論(アフリカ)	2		地域社会学	2							人間社会	12	
地域情報論	2		高齢社会論	2									
市民社会論	2		異文化社会論(アジア)	2									
産業地理学	2		法女性学	2									
◆横浜学Ⅱ	2		現代メディア論	2									
横浜学Ⅲ	2		環境社会学	2									
環境計画論	2		◆横浜学Ⅰ	2									
防災社会論	2		横浜学Ⅳ	2									
			気象学	2									
			市民メディア論	2									
社会調査法(含む実習)AⅠ	2		国際社会学(北米・ヨーロッパ)	2									
社会調査法(含む実習)BⅠ	2		社会調査法(含む実習)AⅡ	2									
			社会調査法(含む実習)BⅡ	2									
高齢者福祉論	2		地域福祉論	2		外国語文献講読Ⅲ	2						
外国語文献講読Ⅰ	2		外国語文献講読Ⅱ	2									
ヨーロッパ政治	2	小山(吉)	ヨーロッパ政治史	2	小山(吉)						関連科目		
労働法Ⅰ	2	坂本(宏)	労働法Ⅱ	2	坂本(宏)								
地方自治論Ⅰ	2	浅野(史) 柴田(直)	地方自治論Ⅱ	2	浅野(史) 柴田(直)								
人間科学専門ゼミナールⅡ			○4		卒業研究				○4		総合演習	12	

〔備考〕

1 ○印は必修科目、×印は選択必修科目、◎印は新設科目、★印は学期変更科目、◆印は隔年開講で今年度休講の科目を示す。

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 科目によっては履修資格や人数が制限される場合があるので注意すること。
- 3 1年間の履修単位数は44単位以内とし、半期に履修登録できる単位数は30単位以内とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期のそれぞれの学期の単位数として換算する）。ただし、卒業年次生に限り、特別に人間科学部長の許可を得た者は上記の制限を超えて履修登録することができる。なお、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数はこの枠外とする。
- 4 長期履修学生制度適用者が各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、学期の違いにより14単位もしくは16単位以内とする。

〔コース制〕

- 1 2年次のコース登録期間内に「心理発達」、「スポーツ健康」、「人間社会」のいずれかを選択し、登録する。なお、未登録者については、自動的に心理発達コースの登録とする。
- 2 コースの変更を希望する者は、3年次当初または4年次当初に「コース変更」を申請し、人間科学部長の許可を得なければならない。なお、年度途中での変更は認めない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目 入学年度	共通教養科目											専攻科目					合計			
	共通基盤科目						共通テーマ科目					基礎科目	基幹科目	展開科目		総合演習		合計		
	FYS	外国語科目(英語)	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	グローバル経済を学ぶ	社会と人間	科学技術と社会	生と死を考える	公共の新しいかたちをもとめて			展開科目	関連科目				展開・関連科目合計	
2015年度 入学	2	8	4	4	4	2	2				32	14	22	30	16	46	12	94	126	
			6																	

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上修得すること。

- (1) FYS 2単位。
- (2) 外国語科目から英語を8単位以上。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
- (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
- (4) 人間形成の分野から「健康科学とスポーツⅠ・Ⅱ」の単位を含めて2単位以上修得すること。
- (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
- (6) 人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上修得すること。
- (7) 「スポーツ文化Ⅰ～Ⅲ」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。

- 3 専攻科目から次の内訳で94単位以上修得すること。

- (1) 基礎科目から次の単位を含めて、14単位以上。

①必修科目8単位。

②選択必修科目は、「人間形成論」、「人間関係論」のうち2単位以上、および「健康学概論」、「心理学概論」、「教育学概論」、「社会学概論」、「社会福祉学概論」のうち4単位以上、合計6単位以上。

- (2) 基幹科目から各コースにおける必修科目の単位を含め22単位以上修得すること。

「心理発達」コースの必修科目は、「心理学基礎実験（含む心理検査）Ⅰ・Ⅱ」及び「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」とする。

「人間社会」コースの必修科目は、「社会調査論Ⅰ・Ⅱ」とする。

「スポーツ健康」コースの必修科目は、「ヒューマンマインド学」とする。

- (3) 展開科目及び関連科目から46単位以上。ただし、展開科目から30単位以上修得すること。

なお、次の単位は、関連科目の単位として算入できる。

①卒業要件単位数を超える共通教養科目、基礎科目、基幹科目、展開科目の単位。

②第二外国語および他学部・他学科開講の専攻科目。ただし、他学部・他学科が受講を認めていない科目については、履修することはできない。

③教職課程本登録者が修得した教職課程の「教職に関する科目」。ただし、10単位を上限とする。

（教職課程仮登録者は算入できない）

- (4) 総合演習から「人間科学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」、「卒業研究」の単位を含め12単位修得すること。

教育課程における標準年次の区切線について

- ① 標準年次が実線（——）で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。
- ② 標準年次が破線（……）で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できますが、〔履修要件〕等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。